

第426回 新経営具体化研究会

TSMC 創業者 張忠謀(モリス・チャン)の物語

講師 朝元 照雄氏
九州産業大学 名誉教授

司会 大塚 壽広
現研主任研究員

2025年11月17日(月)
15:00~17:00

Zoomによるオンライン開催



講師プロフィール
朝元照雄氏
(あさもとてるお)

1950年生まれ。筑波大学大学院社会科学部経済学博士課程修了・博士(経済学)。株式会社日立製作所技術部主任・副参事、ハーバード大学フェアバンク東アジア研究センター客員研究員、九州産業大学経済学部教授・同大学院経済・ビジネス研究科教授を経て、九州産業大学名誉教授。
主著は『現代台湾経済分析』勁草書房、1996年；『台湾経済論』(共編)勁草書房、1999年；『台湾の経済開発政策』(共編)勁草書房、2001年；『台湾の産業政策』(共編)勁草書房、2003年；『開発経済学と台湾の経済』勁草書房、2004年；『台湾農業経済論』(共著)税関経理協会、2006年；『台湾経済入門』(共編)勁草書房、2007年；『台湾経済読本』(共編)勁草書房、2010年；『台湾の経済発展』勁草書房、2011年；『台湾の企業戦略』勁草書房、2014年；『台湾企業の発展戦略』勁草書房、2016年；『発展する台湾企業』勁草書房、2018年など。

右記QRコードからお申し込みができます



[プログラム]

- 1500 第1部 張忠謀(モリス・チャン)の物語
1620 第2部 2ナノ半導体を巡る世界の攻防
1645 質疑応答ならびに講師総括
1700 終了

TSMC は半導体の受託製造(ファウンドリー)市場のシェア6割以上、最先端半導体市場のシェア9割以上を占め、支配的な地位を強化しています。2025年7-9決算も凄まじく、売上高が前年同期比30.3%増の9899億台湾ドル(約4.8兆円)。最終利益39.1%増の4523億台湾ドル(約2.2兆円)。当期利益率は46%であり、AI向け先端半導体を追い風に増収増益を7四半期続けています。

これ程の競争力を築いた真髄はどこにあるのか。それを読み解くためにTSMC創業者の張忠謀(モリス・チャン)の物語を朝元照雄氏に語っていただきます。アップルを語るにはスティーブ・ジョブズの存在が欠かせないように、TSMCを理解するには張忠謀(モリス・チャン)の戦いの軌跡とその経営思想を洞察することが必須です。

朝元照雄氏は台湾企業戦略研究の第一人者であると共に著名なTSMCウォッチャーです。氏が語る張忠謀(モリス・チャン)の物語に耳を傾けて日本産業の重要なパートナーであるTSMCの企業行動を一步深く解明したいと思います。

第2部では、TSMCがその中心かつ最先端にいる2ナノ半導体を巡る世界の攻防を、ラピダスの今後への考察を交えながら、氏の分析と予測をうかがいます。

是非のご参加をお勧めします。